

## 目 次

P1	会員同士の顔の見える会に向けて	菅井俊郎
P2	栃木県支部全体会合報告	土田 茂
P3	講演会報告『栃木県に於ける産学官の連携状況と技術士会への期待』	鈴木友幸
P4	平成25年度 新合格者歓迎会・懇親会の報告	羽山定治
P4	「わくわくどきどきサイエンス」開催（フェスタmy 宇都宮2013）	久芳良則
P6	栃木県支部行事予定	広報委員会
P7	栃木県支部広場（「本技術士会会長表彰」を受賞 等）	
P8	協賛団体の紹介 「東洋測量設計 株式会社」	

## 会員同士の顔の見える会に向けて

栃木県支部長 菅井 俊郎

昨年4月県支部が新たに発足し、2つの合言葉「地域の人と文化と技術をつなぐ架け橋」、「会員の顔の見える会作り」を掲げて活動を開始し1年半が経過しました。



また昨年度は関東8県に支部が一斉にできましたが、その他の10県にも県支部ができ全国で18県の県支部が発足しました。

このことは会員が月刊誌「技術士」の送付を受けるのみでなく、近くにいる会員同士の繋がりができ、お互いの顔の見える会になることに繋がると期待されます。

当支部は12年に渡る前身の県技術士会の頃から会員同士の交流を心がけてきておりますが、新支部となり新たに倍以上の仲間が増えましたが、必ずしも交流が盛んになっているとは言えません。今年は支部発足2年目となりますので、是非皆さんの知恵を結集し会員同志の顔の見える支部作りに努めたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

技術士会の特徴は21の多分野に渡る技術士が在籍していることであり、技術的な課題の解決についてはかなりの実力を持った集団であると思います。しかし一般的に技術士は専門性は高いが幅がないとも言われています。このことは各人の専門に対する実力はあるので、幅を広げるためには各分野の技術士がお互いに異分野の仲間と知り合い、横の連携を強化すれば問題解決に対して相当な評価を得ることができることに繋がると考えられます。

その為には各会員が専門の穴の中に閉じこも

るのでは無く、会の行事に積極的に参加し、他の分野の会員を知り人脈を広げることが必要とされます。その中に於いてチームで問題解決に当たることを経験できれば新たな発見と成果が表れるのではないのでしょうか。

また県・市・大学・関係団体・企業等と県支部との繋がりもだんだん増えてきていますので、技術士会の存在が徐々に知られて、知名度向上につながると考えられます。

例えば、今年5月には宇都宮市からの依頼でフェスタ my 宇都宮 2013 で小学生対象の理科教室を実施し、自分で水の浄化・モーターづくり・燃料電池の自動車づくりに挑戦してもらい大変喜ばれました。

6月18日に日本技術士会総会が東京で開かれ、その際に毎年新会員が入ると同じくらいの退会者がいて、会員の増加につながらないとの話がありました。このため、如何に魅力のある会にするかについて、積極的な意見が出ていました。

当支部も魅力ある会づくりを目指して、国際交流、地域企業支援、環境支援、地域支援、の各委員会がそれぞれにテーマを決め、テーマ別に得意な方が中心になり研究会や勉強会を立ち上げ、世の中のお役に立つ提言をし、少しでも実現するものを生み出すきっかけを提供できればと思います。

是非、各種の行事や研究会に気楽に参加いただき交流・研鑽を深めていただければと願っております。

新幹事15名は会員の皆様の活動がし易くなるように3S (Speedy, Strategic, Sensitive) with Smile をモットーに努力をいたしますので何卒宜しくお願いいたします。

7月4日の本部理事会で引き続き下名が支部長に選任されました。新幹事15名ともよろしくお願いたします。

公益社団法人 日本技術士会  
栃木県支部 全体会合 報告  
栃木県支部会計幹事 土田 茂

日時：平成25年6月8日（土）  
13：00～14：30

場所：ホテル丸治（宇都宮市）

主催：公益社団法人 日本技術士会栃木県支部

## 1. はじめに

昨年平成24年5月の公益社団法人日本技術士会栃木県支部発足の全体会議を第1回とすると、本年6月8日に第2回会目の全体会合が開催されたのでその概要を報告する。出席技術士は40名であった。

## 2. 議事次第

司会の総務委員長 黒須重富の開会宣言で始まり、以下の内容で議事進行した。

### 1) 支部長挨拶

菅井俊郎支部長より栃木県技術士会の過去12年間の活動と、栃木県支部に体制変更した平成24年度の活動を継承して、県支部基本方針の「会員の顔の見える会」と「地域の人と文化と技術をつなぐ架け橋」を目指し、今年の平成25年度活動方針について説明があった。

### 2) 報告事項

①新幹事・新組織及び名誉会員・会長表彰の紹介

小黒幸一副支部長より平成25年3月に選出された県支部新幹事15名(順不同)、菅井俊郎、柳瀬宣義、小黒幸一、黒須重富、羽山定治、亀田則男、谷口雅昭、久芳良則、宮下治、荒井達雄、西谷元則、福田一郎、鈴木友幸、梁島宏光、土田茂が紹介された。

県支部の新組織は、昨年度の組織、6委員会、3小委員会が継承される予定である。

新幹事は7月の本部理事会で承認された後、県支部役員会で組織・担当を決定することになるので、新執行部の始動は実質7月以降となる予定である。

日本技術士会活動の功労者として、栃木県支部より田仲喜一郎、佐倉等、森島啓司の3名の方々が日本技術士会から名誉会員・会長表彰を受ける旨報告があった。

②平成24年度事業経過報告

柳瀬副支部長より平成24年度事業経過報告があった。

特に10月6日のJAXA 川口氏を講師に招いての科学技術講演会「小惑星探査機 はやぶさ学ぶ」は一般市民、学生等の参加もあり好評であった。県支部のその他の活動は事業経過報告の通り、毎年着実にその成果を上げてきていると感じられる。

③平成25年度活動方針について

菅井支部長の支部長挨拶の中で、平成25年度栃木県支部の活動方針の説明がなされた。）

④平成25年度各委員会の事業計画、行事予定

総務委員長 黒須、企画・研修委員長 宮下、業務委員長 柳瀬、広報委員長 西谷、国際委員長 福田、地域支援小委員会 福田、環境支援小委員会 久芳の各委員会委員長より事業計画および行事予定の報告があった。（

⑤栃木県支部平成24年度収支実績および平成25年度収支予算計画

総務委員長 黒須、会計担当幹事 佐藤勝俊より平成24年度県支部収支実績および平成25年度収支予算の報告があった。

平成24年度収支実績はほぼ予算通りであったが、平成25年度は地域社会貢献活動としての地域活性化支援活動関係で対外情報発信費用が増加する予定である。

## 3. おわりに

出席者各位の協力により、司会者の閉会宣言で時間通り無事終了した。



写真1 栃木県支部全体会合の様子

## 講演会報告『栃木県における産学官 の連携状況と技術士会への期待』

栃木県支部会計幹事 鈴木 友幸

講師：栃木県産業労働観光部工業振興課  
(産学官連携推進)

小林 綱芳 主幹

### 1、はじめに

県支部全体会合の講演会は、小林 綱芳主幹（栃木県産業労働観光部工業振興課）をお招きして産学官連携についてご講演いただいた（写真2）。小林氏は宇都宮工業・真岡工業高校など教職の経歴を持っておられる。栃木県における産学官の連携状況を説明された上で、産学官連携の成否は人材育成がポイントであることを強調された。以下に小林 綱芳主幹の講演概要を記す。

### 2、講演の概要

#### 1) 産官学連携

産官学とは企業（産）と大学、高専など高等教育機関（学）と公設試験研究機関・行政（官）とが連携し、新製品、新技術開発や新事業創出を図る取り組みである。最近ではそれを事業化するため銀行など金融機関（金）を含めた連携になりつつある（図1）。



写真2 小林主幹の講演

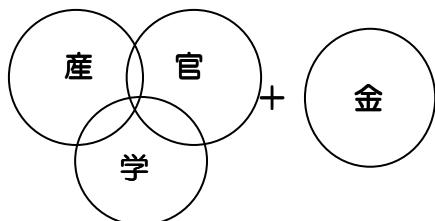


図1 産・学・官+金の連携

講演は、まず国、県、地域の産学官連携施策の経緯・現状についてから詳細に説明された。

#### 2) 国の産学官連携施策

国の施策は1996年に第1期科学技術基本5ヶ年計画が策定され大学等の研究成果の産業界への移転が促進された。現在、第4期科学技術基本5ヶ年計画（2011～2015）の中間点にある。現計画5本の柱の一つが「基礎研究および人材育成の強化」で「科学技術を担う人材の育成」を重点としている。

技術者の養成および能力開発の「推進方策」として次の文言が示されている。・・・国は、技術士など、技術資格制度の普及、拡大と活用促進を図るとともに、制度のありかたについても、時代の要請に合わせて見直しを行う。また産業界は、技術士を積極的に評価し、その活躍を推進していくことが期待される。・・・

#### 3) 県・地域の産学官連携施策

県・地域の産学官連携施策は、2003年に県産業技術センターが開所し、2002年以降、大田原市産学官連携推進委員会、鹿沼ものづくり研究会、おやま産学官ネットワーク、蔵の街トライアングルネットワーク、うつのみや産学官連携推進ネットワーク、県北東部産業交流会、あしかが産学官連携推進センターなど七地域の産学官連携組織が活動している。「かんぴょう丸」など新商品創出の成果が得られている。

2006年以降、県の競争力を強化する新とちぎ産業プラン重点プロジェクトに取り組んでいる。

- ①重点5分野（自動車、航空、医療、光、環境）振興プロジェクト
- ②“フードバレーとちぎ”推進プロジェクト
- ③小規模事業者支援プロジェクト
- ④海外販路開拓支援プロジェクト
- ⑤インハウンド推進プロジェクト
- ⑥雇用対策推進プロジェクト

また、宇大の須藤先生を中心に企業講師による「ものづくり技術強化企業戦略講座」を開催している。

#### 4) さいごに

小林講師は人材育成の大切さを強調して次の言葉で講演を締めくくられた。

「産業経済、社会生活の科学技術に関する21の技術分野の高度な知識と応用能力を持つ技術士に、先進的な活動を期待します。」

## 平成 25 年度新合格者歓迎会・懇親会報告

栃木県支部幹事 羽山 定治

平成 25 年度新合格者歓迎会・懇親会は、6 月 8 日(土)の夕方から宇都宮市内の丸治ホテルにて、来賓の方々 4 名(県庁工業振興課、産業振興センター及び中小企業団体中央会)、新合格者 6 名、協賛団体 5 名及び日本技術士会栃木県支部会員 27 名の合計 42 名の方々が出席し、盛大に開催された。

菅井支部長の挨拶、来賓の挨拶、乾杯の後に、時間の経つのを忘れて、懇親会場のあちこちで、楽しく交流をしながら貴重な情報交換が行われた。

このような日本技術士会栃木県支部会員及び県内諸機関の方々が一同に会する集会は、本会と年末の忘年会の年に 2 回しかなく、貴重な情報交換・交流の場になっている。

その後、新合格者の自己紹介が始まった。新技術士は殆どが企業内技術士であり、現在取組んでいる専門技術と技術士としての夢を発表された。これからの技術士会を背負っていく若い技術士の活躍を期待したい。新技術士の方々と新たな出会いは新鮮であるとともに、我々先輩技術士は技術士業務における更なる活躍と実績を残す責務があることを、改めて思った懇親会であった。



写真3 新合格者の方々

## 「わくわくどきどきサイエンス」開催

於：フェスタ my 宇都宮 2013

栃木県支部環境支援小委員長 久芳 良則

平成 25 年 5 月 19 日(日)に宇都宮市主催の「フェスタ my 宇都宮 2013」が開催されました。栃木県支部(環境支援小委員会)はサイエンスカフェ事業の一つとして参加し「わくわくどきどきサイエンス」を中央市民活動センターで開きました。

サイエンスカフェ事業は子どもの理科教育推進を目的とし、栃木県支部としては初めての試みでした。



### 写真4 展示物

内容は以下の通りです。

#### ① みらいの自動車教室

(燃料電池ミニカー製作)

パワーポイントで地球温暖化とその原因、CO<sub>2</sub>を減らすにはどうすれば良いか、そして燃料電池のしくみを出来るだけ解りやすく説明した後、水の電気分解と燃料電池の実験を行い前に集まって見てもらった。次に燃料電池自動車の仕組みを説明し、最後にミニカー作り、製作したミニカーをコースで走行させました。



写真5 みらいの自動車教室の様子

子供たちは目を輝かせてミニカー製作に没頭！なかなか動かなかった車のモーターが回り出した時の嬉しそうな表情が感動的でした。



写真6 作成したみらい自動車の走行会

② よごれた水をきれいにする実験教室

パワーポイントを見せながら家庭にくる水は「どこからきて何処に行くのか」「川の汚れた水は浄水場できれいにして家庭に配ります」「浄水場ではいろいろな工夫をして水をきれいにしていきます」「水は大事に使いましょう」などの話をしながら、粘土を材料にした泥水を作らせ、泥を固める薬（凝集剤：PAC）を添加してろ紙でろ過して透明な水がろ過されて出てくるのを観察します。

泥水が透明なきれいな水になったときの子どもたちの感動する姿が印象的でした。



写真7 よごれた水をきれいにする実験の様子

③ 10ターンコイルモーター教室

輪の形にしたエナメル線と磁石と電池を使って、磁界の中でエナメル線に電流を流すと力が働き輪の形にしたエナメル線が回り出す事を勉強します。フレミングの左手の法則です。エナメル線のエナメルをはがす作業にややバランスにやや苦労しますがきれいに回ると子ども達は感動していました。



写真8 10ターンコイルモーター教室の様子

また、乗車券の裏面の黒い部分に隠れている磁気パターンを微細な鉄粉を利用して紙に転写して目に見える実験にも子ども達は興奮していました。

④ 客寄せパンダ

テレビ画面を見るとモニター上のカメラが顔を認識して見ている人の顔に眼鏡やひげをつけたり、カツラをかぶせたり様々な像をつくります。来場客を引きつけるすばらしいソフトです。日本技術士会本部社会貢献委員会川畑真一技術士提供です。



写真9 客寄せパンダ

我々県支部スタッフは本部より提供していただいたスタッフジャンパーを着用し、また、多くの小中学生の参加を得て盛況の下にわくわくどきどきサイエンス教室を終えることができました。多くの方に御協力を頂き感謝申し上げます。



写真10 フェスタmy宇都宮のパンフレット



# 栃木県支部行事予定



7月10日現在 作成：広報委員会

月・日	曜日	総務委員会	企画・研修委員会	広報委員会	国際委員会	業務地域企業合同 及び振興セNW推進	環境支援 小委員会	地域支援 小委員会
随時				ホームページ運営				
6月～12月	－			パンフレット作成				
7月3日			打合せ					
7月12日	金	委員長会議				業務地域企業小打合せ		
7月13日	土			会報3号 編集完了		第1回見学会 (7または8月開催予定)		防災危機管理セミナー
7月20日	土							
7月23日	火				7月例会			
7月27日	土	第4回役員会		会報3号 発刊準備				第2回小委員会
8月9日	金		会員交流会					
8月10日	土		見学会/観賞会					
8月20日	火				8月例会			
9月8日	日			エンジョイカガク2013		宇都宮大学企業交流会 (9月開催予定)	エンジョイカガク2013	
9月14日	土	第5回役員会						第3回小委員会
9月17日	火				9月例会			
9月28日	土		企画・国際委員会 合同講演会		企画・国際委員会 合同講演会			
9月29日	日							2013よさきウォーク
10月17日～19日	－				日韓技術士会 (韓国：水原)			
10月19日	土	第6回役員会						
10月22～24日	火				浙江省訪日団来県			
11月2日	土		科学技術講演会			足利銀行企業交流会 (11月開催予定)		
11月9日	土							
11月16日	土	第7回役員会		第2回 広報委員会				第4回小委員会
11月17～19日	－				浙江省訪問 (企業支援)			
11月30日	土						ECOテック& ライフとちぎ2013	
12月1日	日					第2回見学会 (12月開催予定)		
12月7日	土		平成25年 講演会・交流会					
12月14日	土	第8回役員会						
12月17日	火				12月例会			
12月31日	火			会報4号 原稿締め切り				
1月15日	水			会報4号 編集完了				
1月18日	土	第9回役員会						第5回小委員会
1月21日	火				1月例会			
1月25日	土			会報4号 発刊準備				
2月12日	土		情報提供講座			県重点産業振興協議会 (2月開催予定)		
2月18日	火				2月例会			
3月8日	土	第10回役員会				・振興セ創業支援部会 ・振興セネットワーク スタッフ会議 (3月開催予定)		
3月18日	火				3月例会			

# 栃木県支部会報広場

## 栃木県支部会員

### 「日本技術士会会長表彰」等を受賞！

平成25年度日本技術士会定例総会（6月18日）において、長年の会発展に貢献したことにより、本支部から佐倉 等氏（経営工学部門）、森島啓司氏（環境部門）が会長表彰を受賞、田中喜一郎氏（農業部門）が名誉会員に推挙されました。栃木県支部にとっても非常に名誉なことです。おめでとうございます。



左から田中氏、佐倉氏、森島氏ご夫婦

## ＝ 会報コラム ＝ 綱神社（つなじんじゃ）

今回は、益子町大羽地区にある「綱神社」を紹介します。

建久5年（1194）宇都宮第3代 宇都宮朝綱により創建されました。

森閑とした木々に溶け込み素朴な佇まいの雰囲気を見せる綱神社本殿。

その特徴的なのが、正面側の方が長く優美な曲線を描いて伸ばされた「流造・ながれづくり」と呼ばれる様式の茅葺き屋根。側面から見るとさらに印象的で美しく、一見の価値あります。

所在地：栃木県芳賀郡益子町上大羽 2350

文化財：国重要文化財

市町村指定天然記念物、枝垂えごのき  
(大岩正通)



## エンジョイカガク2013 スタッフ募集（2013年9月8日（日）10時～15時）

帝京大学で開催される「エンジョイカガク2013」に参加し、県支部は「みらいの自動車教室」を実施します。

地球環境問題とみらいの自動車について勉強し、勉強した後で、新型電池を使ったミニカーを作って走らせます！

教室内の実験やミニカー作成する指導者・補助者としてご協力願える方、西谷までご連絡ください。



## お願い

現在県支部会員の方への連絡は本部に登録されたWeb名簿のメールアドレスを利用していますが、登録されている方も6割ぐらいで、アドレス変更・改定がなされていない方も多いようです。

顔の見える支部にするためには、まずは支部からの連絡が正確に届くことが重要です。

是非、本部Web名簿への登録をよろしくお願ひいたします。

登録には会員パスワードを取得し、本会本部HPの会員専用ページの「本人情報変更申請」からできます。  
栃木県支部 総務委員長 黒須 重富

# 協賛団体の紹介

## 東洋測量設計 株式会社

代表者名 : 代表取締役社長 戸部 康彦  
所在地 : 〒 321-0107  
栃木県宇都宮市  
江曾島一丁目11番12号  
E-mail: [toyosurv@ucatv.ne.jp](mailto:toyosurv@ucatv.ne.jp)  
TEL: 028-658-5311  
創立年月日: 昭和39年6月30日  
従業員: 38人  
業務内容: 測量全般  
土木設計  
物件調査算定  
上下水道全般  
地図情報システム(GIS)

弊社は人との繋がりを大切にします。

弊社は創業以来、公共事業と東京電力の業務に携わって参りました。

技術職である以上IQ(Intelligence Quotient(知能指数))の向上はもちろんですが、弊社がもっとも大切にしているのはEQ(Emotional Intelligence Quotient(心の知能指数))の向上です。

そして弊社のモットーは「いきいき、にこにこ、はきはき」

昭和39年6月に創業し、来年創業50年の大きな節目の年を迎えますが、これからもお客様、そして現場等で係る地権者様のことを第一に考え、人との繋がりを大切にする企業として、社会貢献に努めてまいります。

## 協賛団体の紹介(五十音順)

当支部に協賛戴いている団体です。

宇都宮測量 株式会社	栃木県技術士会報18号紹介
晃洋設計測量 株式会社	栃木県技術士会報12号紹介
株式会社 真和技研	
株式会社 ダイミック	
大東虎ノ門設計 株式会社	栃木県技術士会報13号紹介
株式会社 中央土木工学研究所	栃木県支部会報 創刊号紹介
東亜サーバイ 株式会社	栃木県技術士会報14号紹介
★ 東洋測量設計 株式会社	
株式会社 トキタ・ac	
株式会社 栃木用地補償コンサルタント	栃木県技術士会報15号紹介
日研測量 株式会社	
日昌測量設計 株式会社	栃木県技術士会報16号紹介
株式会社 ビーシーコンサルタント	
株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ	
富士コンサルタンツ 株式会社	
有限会社 水環境プランニング	栃木県技術士会報17号紹介
やまこ産業株式会社	栃木県支部会報 2号紹介

上記団体を順次ご紹介させていただきます。「★」は当号の紹介です。

## 編集後記

栃木県支部が活動を開始して1年が過ぎました。第2回の全体会合も無事開催され、多くの出席者のもと昨年度の活動及び今年度の予定が報告されました。今年度は、昨年度より多くの会員の方が活動に参加して頂けるよう期待しております。

栃木県支部の新メニューは、子供の理科教育推進を目的に、理科教室を初めての試みとして実施しております。既に多くの学校・地域団体等から問い合わせが来ており、将来の担い手を育成できるチャンスととらえ、県支部の環境支援小委員会とともに広報活動の一環として取り組みますのでご協力ほどお願いします。

広報委員会は本部ホームページを活用し、会員の方々に情報を伝達していきます。定期的に関覧してください。

[http://www.engineer.or.jp/c\\_shibu/tochigi/](http://www.engineer.or.jp/c_shibu/tochigi/)

## 公益社団法人日本技術士会 栃木県支部 会報 第3号 2013年7月発行

発行者 栃木県支部(支部長 菅井 俊郎)

広報委員会: 委員長 西谷元則

副委員長 鈴木友幸、谷口雅昭

委員

長山八洲稔、大島晃二、大岩正通

事務局 〒321-0954

宇都宮市元今泉 7-5-9 アメリカン倶楽部 2F

Tel:028-666-5816/Fax: 028-666-5148